

平成24年度
「地域連携型インターンシップ」
アンケート集計結果（企業対象）

北九州地域産業人材育成フォーラム
H24年 11月 1日

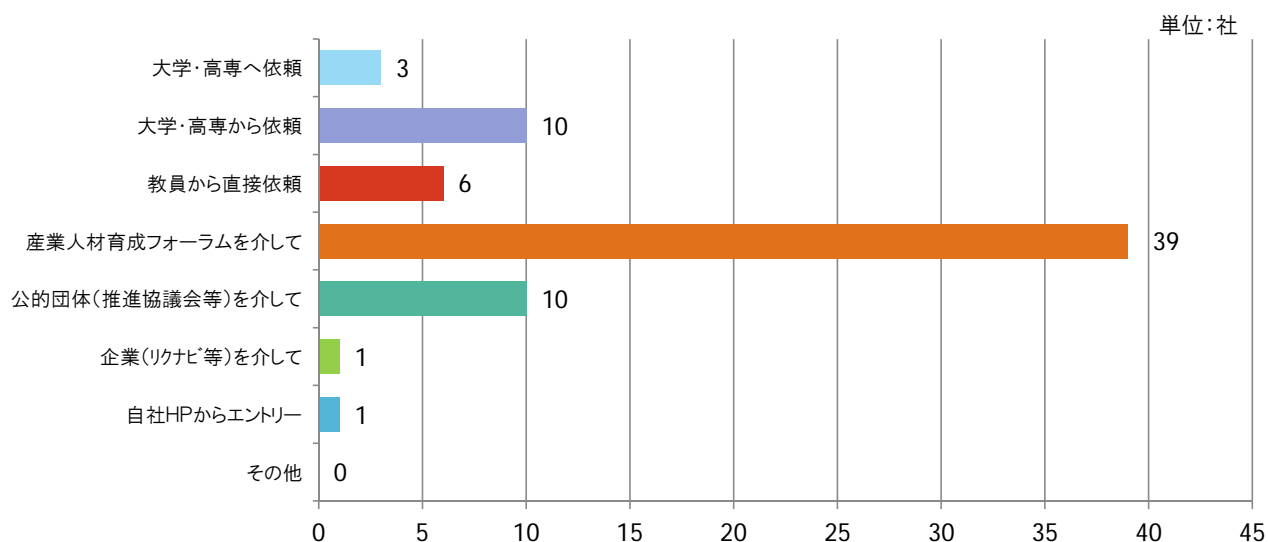
1. アンケート概要

アンケート期間 : 平成24年10月15日～10月31日

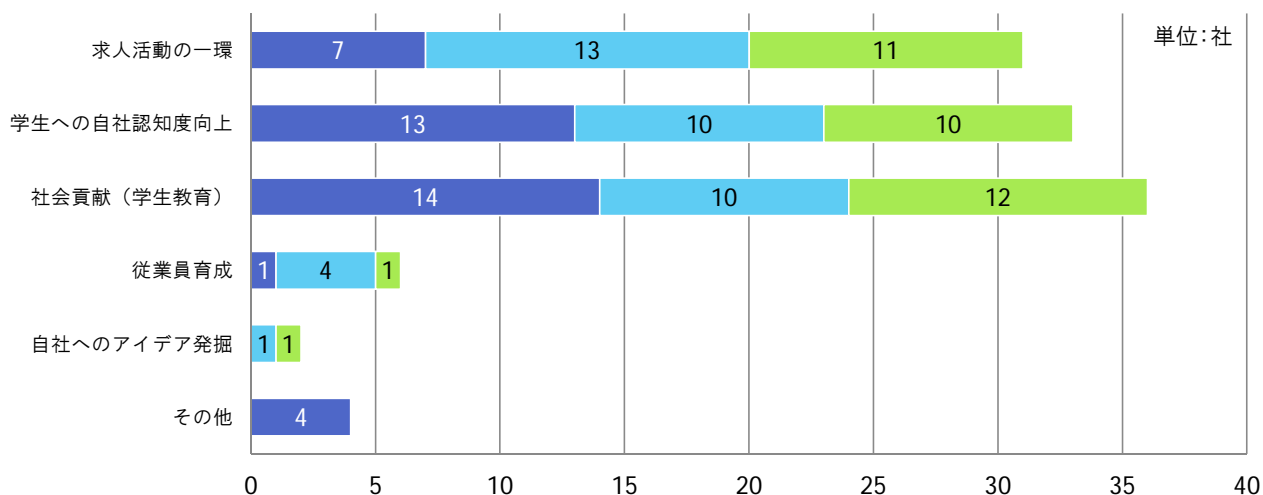
対象 : H24年度 インターンシップ受入れ実施企業 57社

回収数 : 39社 (回収率 68.4%)

2. インターンシップ受入れ方法について (複数回答可)



3. インターンシップを受入れ理由 (優先順位3位まで回答)

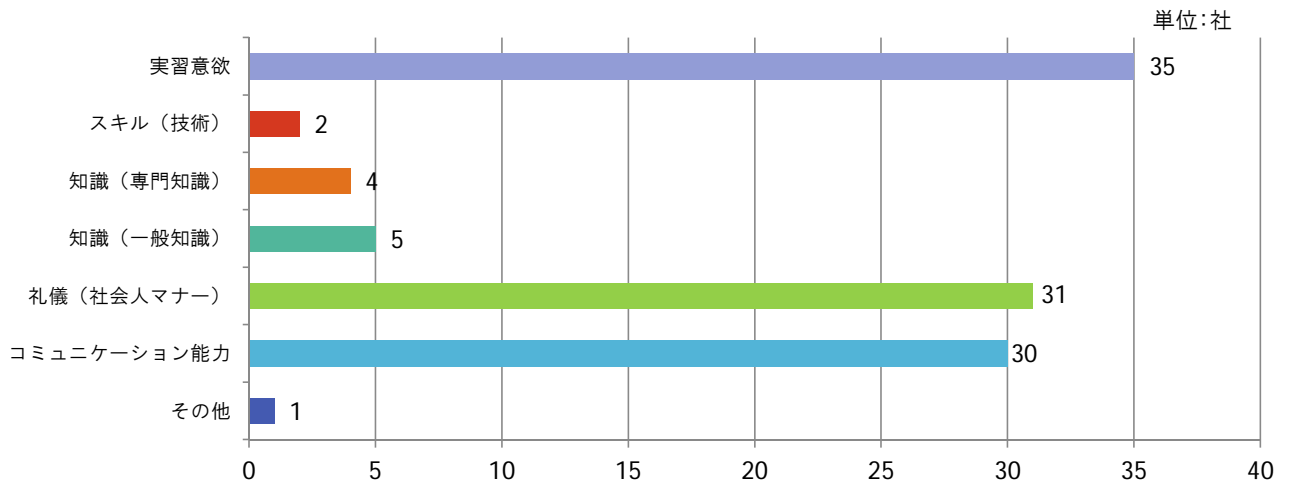


| | その他 | 自社へのアイデア発掘 | 従業員育成 | 社会貢献(学生教育) | 学生への自社認知度向上 | 求人活動の一環 |
|------|-----|------------|-------|------------|-------------|---------|
| ■ 1位 | 4 | 0 | 1 | 14 | 13 | 7 |
| ■ 2位 | 0 | 1 | 4 | 10 | 10 | 13 |
| ■ 3位 | 0 | 1 | 1 | 12 | 10 | 11 |

【その他】

◆学校との関係強化のため(2件) ◆大学との連携 ◆相互のWin-Win

4. インターンシップ^o学生に求める能力について (複数回答可)

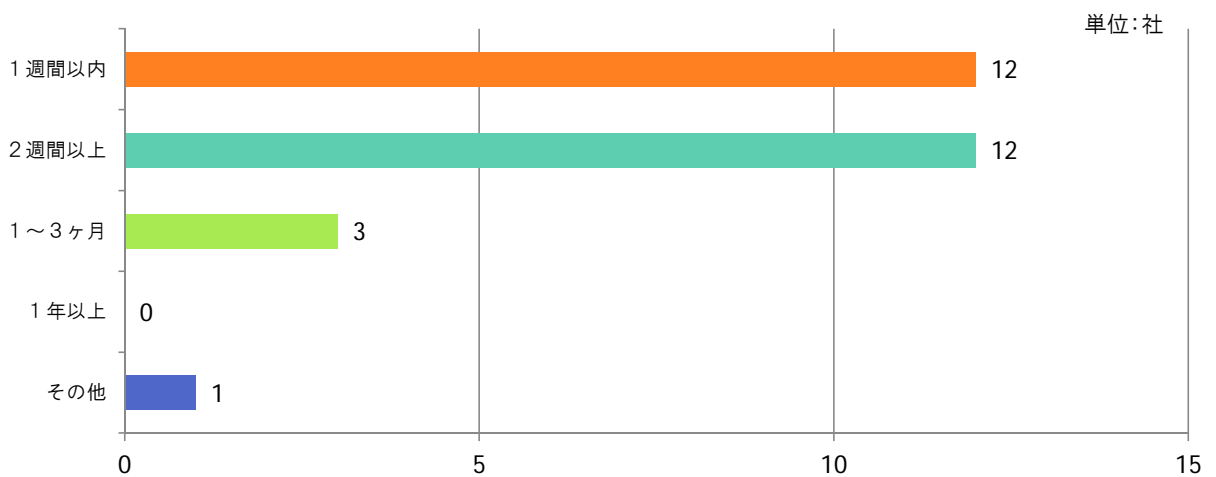


【その他】

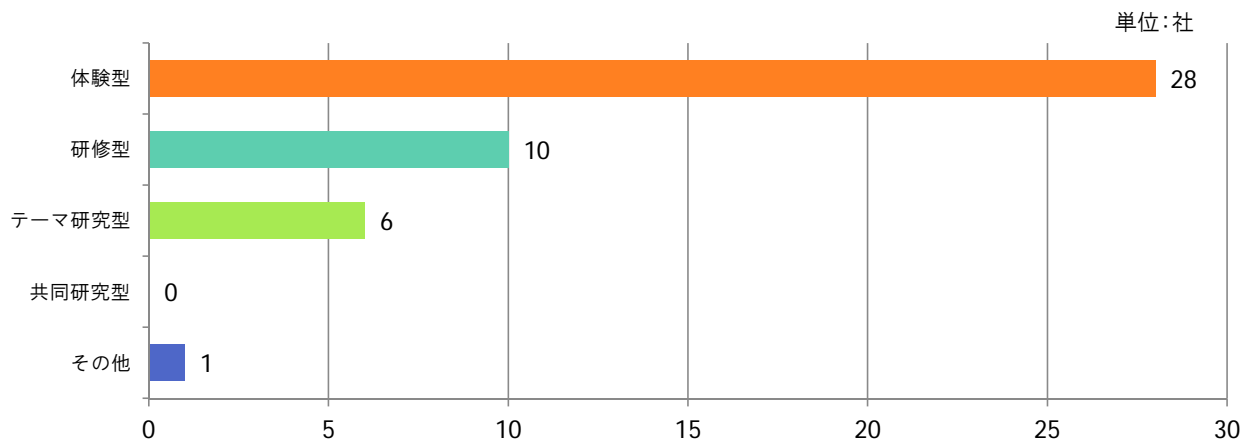
◆文章力

5. 有効と考えるインターンシップ^oの方法について

1) 期間



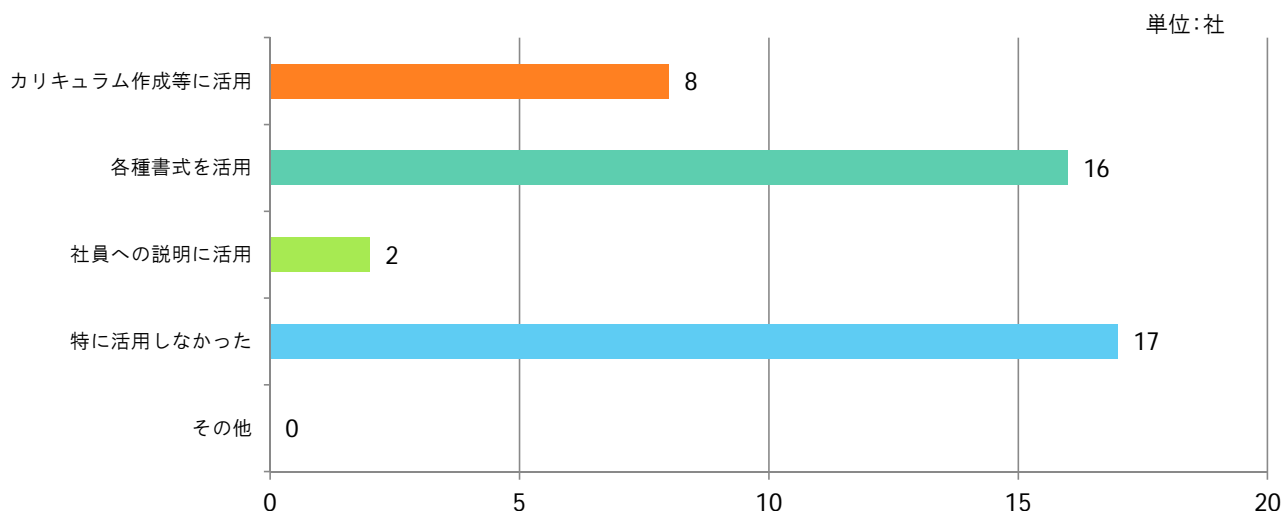
2) 方法



【その他】

◆体験・研修 複合型

6. 「地域連携型インターンシップガイドCD」の活用について（複数回答可）



7. 受入れ手続き、照会方法等の問題点について

- ◇ 受講者より、事前に集合日時、必要な物等、各人から電話が入る対応（2件）
- ◇ 事前に学生の技術的なスキル情報が手に入らず、インターンシップのカリキュラム作成に頭を悩ませている。
- ◇ 受入れ部門の選定
- ◇ 複数へ募集すると、最大受入れ人数の調整が難しかったこと。
（最大2名募集で、計3名の応募に対して1名も断れなかった。学生都合により3名同時に開催できなかった。）

8. インターンシップを受入れるメリット・デメリットについて

1) メリット

- ◇ 学生、学校への自社の認知度向上（社風、事業内容、技術）（18件）
- ◇ 社員教育にもなる。（新入社員、若手社員、教育担当者）（13件）
- ◇ 実習生が入ることで、職場が活性化（8件）
風通しの良い風土づくりの一助となる、若手社員への刺激等
- ◇ 採用活動につなげることが出来る。（求人裾野の拡大等）（6件）
- ◇ ・今時の学生気質、学問レベル、考え方等を知ることが出来る。（3件）
- ◇ ・社会貢献の一環（3件）
- ◇ 社員と同様に業務してもらうため、人員増となり業務負担の軽減にもつながった。（2件）
- ◇ 学校との連携強化につながる。（2件）
- ◇ ・学生との交流、コミュニケーション
・研究テーマの発見
- ◇ 一定期（2週間以上）あれば、実務上の課題研究や当面の実務上の戦力となり得る。
- ◇ 受入れ人数分の知恵が得られること。

2) デメリット

- ◇ 事前準備、実習に時間やコストがかかる点（11件）
対応部署との打合せ、実習担当者の確保、機材・資料・作業服の準備、交通費支給等
- ◇ 通常業務の圧迫。(生産性が落ちる、残業となる) (8件)
- ◇ 受入れ部署への負担 (7件)
- ◇ 取り扱わせる技術、顧客情報等の情報漏洩の危険性 (4件)
- ◇ 安全の配慮、機密保持の関係により、受入れ部署や業務に制限がある。
- ◇ 実習意欲のない学生に対しても、指示・指導を行わなければならない。
- ◇ 学生の都合で1週間の期間となると世話と指導だけで終わってしまうので、多忙期と重なるとデメリットが大きい。
- ◇ ・受入調整者の業務負担増
・採用へ直結する可能性が高くない
- ◇ 学生のレベルの均一性が保てない。
- ◇ 大学での専門分野と離れるケースが多い。
- ◇ 指導スタッフの管理業務
- ◇ ・細かなところまでの配慮ができない。

9. 学校、学生に対する要望・意見

1) 学校に対して

- ◇ マナーの教育 (4件)
最低限(挨拶など)は、実習前に学校で教育すべきです。
そこで、どのようなことを学んでいるのか、事前に教えて頂けると安心です。
- ◇ 近年、文章力、自己表現力に欠ける学生が多いように感じます。そういった指導もしていただけると、より良い実習につなげることが出来ると思います。
- ◇ 事前説明会と終了後の報告会を実施することで、インターンシップの実施効果が高まると考えています。
- ◇ 学生のスキルと企業がよりマッチングするように配慮して欲しい。
- ◇ 知識や技術だけではなく、普段の受講態度などについても指導を行って欲しい。
- ◇ インターンシップでの実施結果について、学習成果の評価を大学側でも実施していただくと受入れ側の企業でも次の受入れ時に反映出来る様になります。
- ◇ 事務局の方がインターンシップの受入れ他準備などを企業側が行っている内容を把握することで、業務の効率化は見えるのではないのでしょうか。
- ◇ 受入れ企業側にこういうことをさせて欲しい、学ばせて欲しいといった要望もあるとよいかと思う。
- ◇ インターンシップが学生にとって、貴重な体験になるためには、学生の考え方や行動次第と思うので、もっと学校で学生自身が積極的に考えたり、動いたりする場を用意すると良いと思う。
- ◇ 意外なことであるが、パソコンの操作に手馴れていない(ケイタイがあれば、パソコン不要に近いのか)レポートの書き方も全く知らない。これらは、大学側での指導が必要。

- ◇ 今回、積極的な学生で実習中の態度、行動とも良好であった。次回以降も今回のような学生のご応募を期待したい。また、機械・電気系の学生についてもご応募いただければ是非対応したい。
- ◇ 参加にあたってのレクチャー(心構え等)をしっかりと学生に対して行っていただきたいと思います。
- ◇ 会社の概要をある程度理解させて、興味を持ってもらえれば受け入れやすい。
- ◇ 通勤時の事故・トラブルがないようにご配慮下さい。

2) 学生に対して

- ◇ 企業の事前調査、研究(興味を持って研修に臨んで欲しい) (2件)
- ◇ 将来の展望を確立して欲しい
- ◇ 社会人としてのマナーを学んできて欲しい。
- ◇ 研修という位置づけでなく、社会人になる為の準備としての自覚を持ってきて欲しい。(今までの実習生は特に問題ありません)
- ◇ インターンシップに参加する際は、何か一つ目標を持って来ていただきたいと思います。
- ◇ 実習に対する意欲や向上心に期待
- ◇ 本当に習いたい学生のみ受入れたい。(製造方法や製品に興味のある者)
- ◇ コミュニケーション能力の向上
- ◇ 学生の時に社会人生活を学べるというのは大変素晴らしいことだと思う。ただそれが貴重な体験になるのか、無駄な時間になるのかは学生の考え方、振る舞い次第だと思う。
- ◇ 今回受入れた2名の学生については、時間・期限の厳守、挨拶、言葉遣い等特に問題なく、積極性があり、スムーズに実習が行えた。
- ◇ 実習前のイメージと違ったこともあるかもしれないが、会社とは、社会とはといったものを少しでも理解できるようにしてもらえると良い。
- ◇ インターンシップに参加する目的、実習意欲を持って臨んで欲しい。
- ◇ 実習に行けば何かさせてくれるだろうという「待ち」の姿勢ではなく、自分から学びたいことを事前に発信することも必要か。
- ◇ 何事にも目的意識を持ち、積極的に取り組んで欲しいと思います。
- ◇ 実習主目的が何なのかを考えて、その期間を有効に過ごしてもらいたい。

10. フォーラムに対する要望・意見

- ◇ インターンシップに参加された学生の発表会をやっていただけると、自社の方法等の見直しにもつなげることが出来るので、ありがたいです。
- ◇ 定期的な会合が必要
- ◇ 北九州の製造業の発展の為に、これからもよろしくお願いします。
- ◇ インターンシップを体験することによって、社会の厳しさ、仕事の面白さなどがわかってくると思いますが、それだけではなく、社会人としてのマナー、規律などが分かるのではないのでしょうか。今後、体験をされたい方がおられる場合は、協力したいと思います。
- ◇ 事前にCD等で書式をまとめて頂き、助かりました。
- ◇ 受入れのシステムで受講者に対し、昼食、交通費をこちらから支払う制度に疑問を感じます。
- ◇ 実習学生との連絡ルートがよく分からず、情報伝達がきちんとできなかつたので、どの段階から個別連絡をとって良いのか示して欲しい。
- ◇ 気が付いた学生の長所・短所について伝え、就職活動についてのアドバイスをさせていただきました。
- ◇ ・インターンシップにおいて一番大切なことは自分が何を体験したいか、何を知りたいか等、具体的な目的を持って臨むことであり、その部分が明確であれば、限られた実習期間の中で、効果的なプログラムが組めるのではないかと感じた。
・一般的な業務ソフト(Excel、Word、PowerPoint等)の取扱いは、最低限身に付けておいていただきたいスキルである。(使い方を教える程、時間はない)
- ◇ 大学では理論や原理など学んでいるようですが、実際に現場を体験することに学生には新鮮な驚きがあったように感じた。
諸外国の学生に後れを取らないように継続する必要があると思います。
- ◇ ・事前にエントリーシートだけでなく、スキル表もいただけるとカリキュラム作成の手助けになります。
・学生に対し、インターンシップでは必ずしも自分が希望するような内容の実習が行えるわけではないことや、指示・指導の受け方についての講習を行っていただきたいです。
- ◇ 学生の夏休みに合わせて8月に実施するとなると盆休み(会社の夏休み)が真ん中にくることから、曜日との兼ね合いが悪いと、上旬か下旬の1週間しか対応できないケースがあるので、7月～9月幅広くとれるようにするとよい。
- ◇ 九州インターンシップ推進協議会と比べ、より北九州市エリアに特化した、地域の大学の取りまとめ役としての活動に期待しております。
- ◇ 非常に貴重な場をつくって頂き、ありがとうございます。